

大分県森林づくり委員会 出席者名簿

1. 委員名簿

		氏名	住所	所属団体及び役職名等	会議出欠
学識 経験者	1	ハヤシ ヒロアキ 林 浩昭	大分市	国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 会長 別府大学客員教授	○
	2	タカノ ケイ 田中 圭	大分市	大分大学理工学部 准教授	○
林業	3	コウノ ジュウヤ 後藤 重也	佐伯市	直川林研グループ 会長	○
	4	クニエ タケエ 工藤 佳枝	九重町	久大林産(株)	○
木材 活用	5	コヤマ タイチ 横山 太一	大分市	大成住建株式会社 専務取締役	○
	6	シノ タケジ 野 大二	大分市	大分県木材協同組合連合会 専務理事	○
森林 教育	7	アサノ ユキコ 足利 由紀子	中津市	NPO法人水辺に遊ぶ会 理事長	×
	8	サガラ タカノリ 相良 尊徳	玖珠町	大分森林インストラクター会 会長	○
漁業 ・海	9	オカザキ ミヤコ 岡崎 都	中津市	大分県漁業協同組合女性部 監事	○
観光 (景観)	10	ヒメノ ユカ 姫野 由香	大分市	大分大学理工学部 助教	×
消費者	11	タカシ マコ 高司 真理子	豊後大野市	生活協同組合コープおおいた 理事	×
企業	12	ワタナベ トオル 渡辺 徹	大分市	大分銀行 地域創造部 地域社会貢献グループ 推進役	×
公募	13	タマ ケンジ 詫摩 賢治	杵築市	一級建築士	○
	14	ハヤシ ヒロミ 林 弘美	大分市	NPO法人みどりの森プロジェクト 理事長	×

9

2. 関係課室

氏名	所属等	会議出欠
シカワ マサ 吉川 正純	林務管理課 課長	○
ヤマグチ ツヒシ 山口 哲市	税務課 課長	○
マツダ ミ 松田 美穂	税務課 副主幹	○

3. 事務局

氏名	所属等	会議出欠
モリサカ ツネノリ 森迫 常徳	農林水産部 審議監(林政)	○
カワノ トモヒサ 河野 智久	森との共生推進室 室長	○
マツハラ ケイコ 松原 恵子	森との共生推進室 主幹	○
オカベ ユウキ 岡部 佑樹	森との共生推進室 主査	○
ナシダ ケンヤ 梨田 健也	森との共生推進室 主任	○

(1) 令和元年度 森林環境税活用事業の実績について【一覧表】

(単位:千円)

	施策区分	事業名	事業費	担当課室
I 県民生活と自然環境を守る森林づくり	1 荒廃森林の整備	1 災害に強い森林づくり推進事業	20,635	森林整備室
		2 急傾斜値崩壊危険区域緊急伐採事業	9,166	砂防課
		3 地域の安心基盤づくりサポート事業 ①	10,000	建設政策課
	2 里山林の保全と利活用	4 荒廃竹林整備・利活用推進事業	7,225	森林整備室/森との共生推進室/林産振興室
		5 県営と市公園里山利活用推進事業	1,909	公園・生活排水課
		6 魅力ある景観づくり推進事業	10,000	都市・まちづくり推進課
	3 シカ被害対策の推進	7 鳥獣被害総合対策事業	72,440	森との共生推進室
		8 自然環境保全管理費	4,997	自然保護推進室
	4 森・川・海をつなぐ環境の整備	9 森と海をつなぐ環境保全推進事業	1,121	漁業管理課
		10 森と海をつなぐ環境保全推進事業	2,053	循環社会推進課
		11 豊かな水環境保全推進事業	1,935	うつくし作戦推進課
			141,481	
II 森林資源による地域循環活性化	1 健全な人工林資源の拡大	1 再造林促進事業 ②	104,545	森林整備室
	2 森林資源の需要拡大	2 県産竹材利用促進事業	502	工業振興課
		3 竹産業等振興対策事業	473	林産振興室
		4 県産品販路開拓支援事業	2,000	商業・サービス業振興課
		5 森林認証材等供給体制整備事業	1,503	林産振興室
		6 ラグビーワールドカップ開催事業	846	RWC2019推進室
		7 国際芸術文化振興事業	800	芸術文化スポーツ振興課
			110,669	
III 森にふれ親しみを支える取組み	1 森林ボランティア活動の促進	1 森林づくりボランティア活動促進事業	13,649	森との共生推進室
	2 森林環境教育・木育の推進	2 森林環境教育・木育促進事業 ③	7,547	森との共生推進室/林産振興室
		3 おもてなしトイレ緊急整備事業	6,290	観光政策課
		4 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク施設整備事業	8,301	自然保護推進室
		5 森林環境学習促進事業	7,613	社会教育課
		6 未来の環境を守る人づくり事業	3,462	うつくし作戦推進課
		3 森林整備への理解と参加を広げる取組み	7 みんなで支える森林づくり推進事業	3,610
	8 おおいたの森林づくり広報推進事業		2,572	森との共生推進室/林産振興室
	9 おおいたうつくし作戦推進事業		2,441	うつくし作戦推進課
	10 全国育樹祭開催準備事業		2,859	森との共生推進室
			58,345	
			310,495	

①地域の安心基盤づくりサポート事業(R1新規)

【事業内容】
 ・河川内における、災害由来流木の除去や河道内樹木の伐採を実施

【R1事業費】10,000千円
 【R1実績】河道内樹木の伐採 県内：18箇所



②再造林促進事業

【事業内容】
 ・林業適地における2,000本/ha以下の、低コスト再造林を支援

【R1事業費】104,545千円
 【R1実績】再造林面積：674ha

年度	H28	H29	H30	R1	R2	合計
計画	650ha	750ha	930ha	980ha	1,010ha	4,320ha
実績	663ha	914ha	823ha	674ha		3,074ha

③森の先生派遣事業(森林環境教育・木育促進事業)

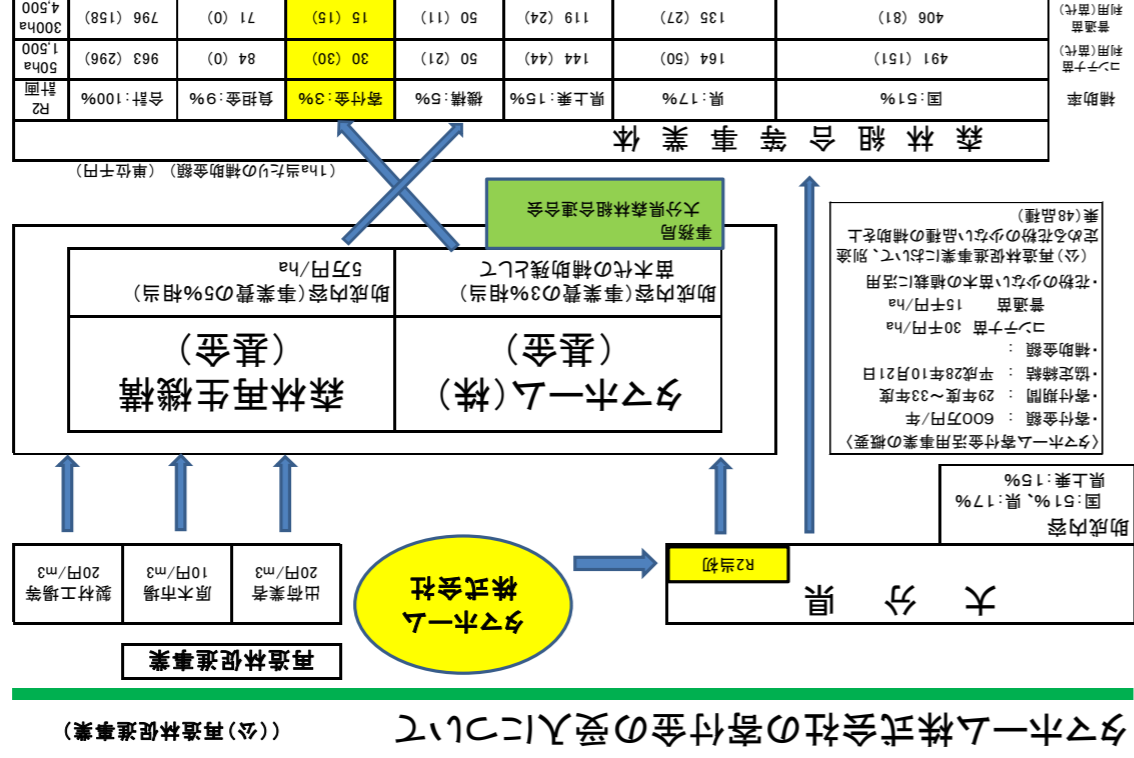
【事業内容】
 ・保育所や小学校、児童育成クラブ等に「森の先生」を派遣し、森林体験活動を実施

【R1事業費】6,468千円
 【R1実績】派遣回数：85回 体験児童数：4,565人



森の先生による自然体験学習

企業と連携した再造林推進の仕組み



①地域の安心基盤づくりサポート事業 (河川内小規模支障木緊急除却事業)

【河川課】

1 実施主体

大分県（土木事務所）

2 実施事業の概要

(1) 現状と課題

山腹崩壊で発生した流木や河道内樹木が橋梁等にひっかかることで河道閉塞を引き起こし、氾濫を拡大させる被害が多く発生している。

(2) 目的

河道閉鎖の原因となっている流木や河道内樹木等を伐採することで、被害軽減対策による防災力強化を図る。

(3) 事業内容

県管理河川内で、流木や流水阻害を発生させる河道内樹木について、小規模なものを対象に雑木等の伐採、運搬、処分を行う。

3 成果

河道内樹木等の伐採により、河川氾濫による住民への被害を未然に防止できた。

令和元年度伐採箇所	臼杵市、熊崎川 他 17 箇所
-----------	-----------------

4 今後の課題と取組

近年頻発する豪雨災害を踏まえ、人家など背後地の状況を勘案し、緊急性の高い河川から順次事業を実施し、河道内樹木による氾濫拡大の危険性の解消に努める。

5 実施状況写真



(撤去前)



(撤去後)

○：流阻害を発生させる河道内樹木

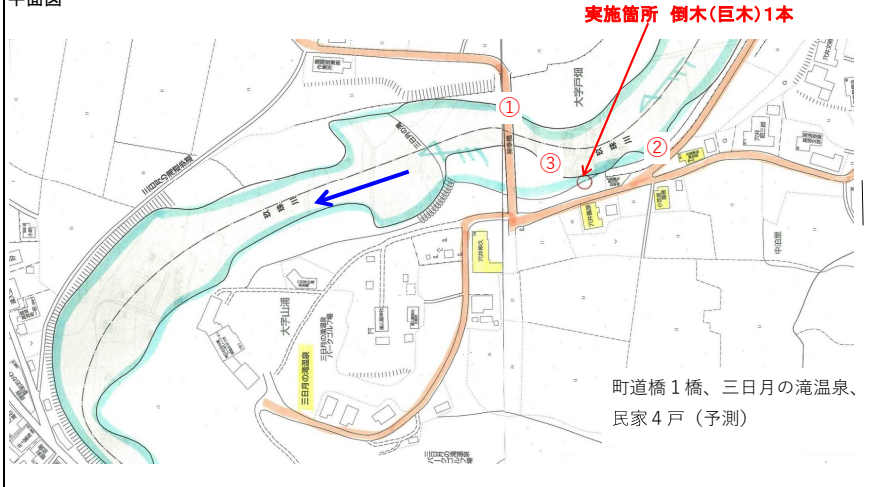
→：川の流れる方向

要望箇所別調書

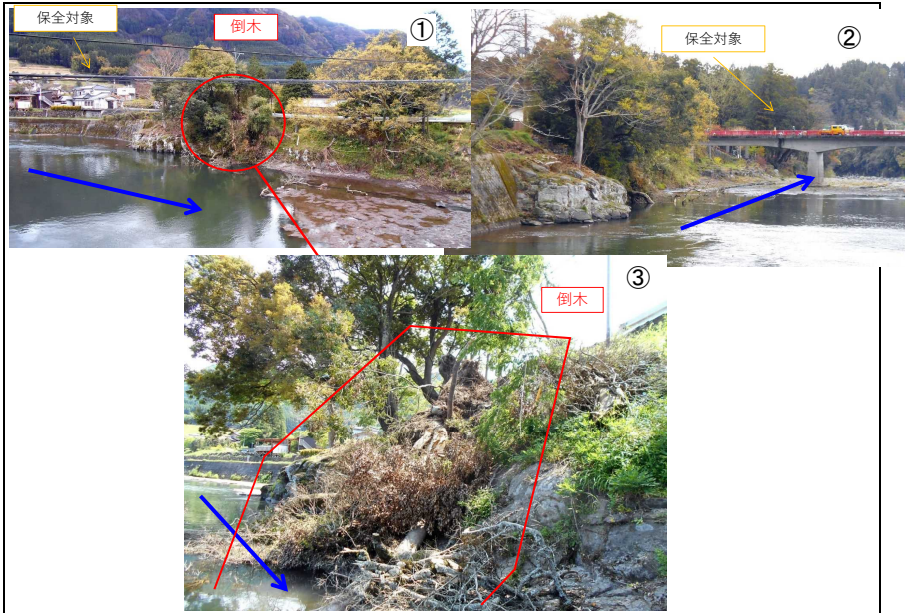
25

河川・水系名	1級河川 筑後川水系 玖珠川	施工場所	玖珠町大字山浦
委託概要	委託費: 300,000 (円)	延長:L= 13 (m)	数量:V= 17 (t)
緊急性	A	町道橋1橋、三日月の滝温泉、背後に民家あり(4戸) 地元要望有り	事業効果
			町道橋1橋、三日月の滝温泉、民家4戸(予測)

平面図



要望箇所別調書(写真)



実績調書(写真)



②再造林促進事業

【森林整備室】

1 実施主体

森林所有者、森林組合等

2 事業計画(H22～R2)

3 実施事業の概要

(1) 現状と課題

木材価格の長期的低迷や森林所有者の高齢化等により、皆伐後の再造林が実施されない箇所が発生している。再造林が実施されないと、災害の発生など森林の公益的機能が低下や将来の森林資源確保と木材の安定供給に支障をきたすことが懸念される。

(2) 目的

林業適地における低コスト再造林を支援することにより、森林整備の育林コストを低減し、持続的な林業経営を推進する。また、早期に森林の公益的機能の回復を図る。

(3) 事業内容

伐採後の林業適地において、疎植造林(植栽本数 1,000～2,000 本/ha(法令による制限は遵守))を実施した森林所有者等に対し、森林環境税を活用し、国庫補助に上乗せ助成を行う。

4 成果

事業を開始した平成 22 年度以降、再造林面積は増加しており、再造林放棄地が減少している。また、平成 21 年度は県下全体でスギ・ヒノキの疎植造林の割合が 44%であったが、令和元年度は 95%を占める割合となり、再造林のコスト縮減が図られた。

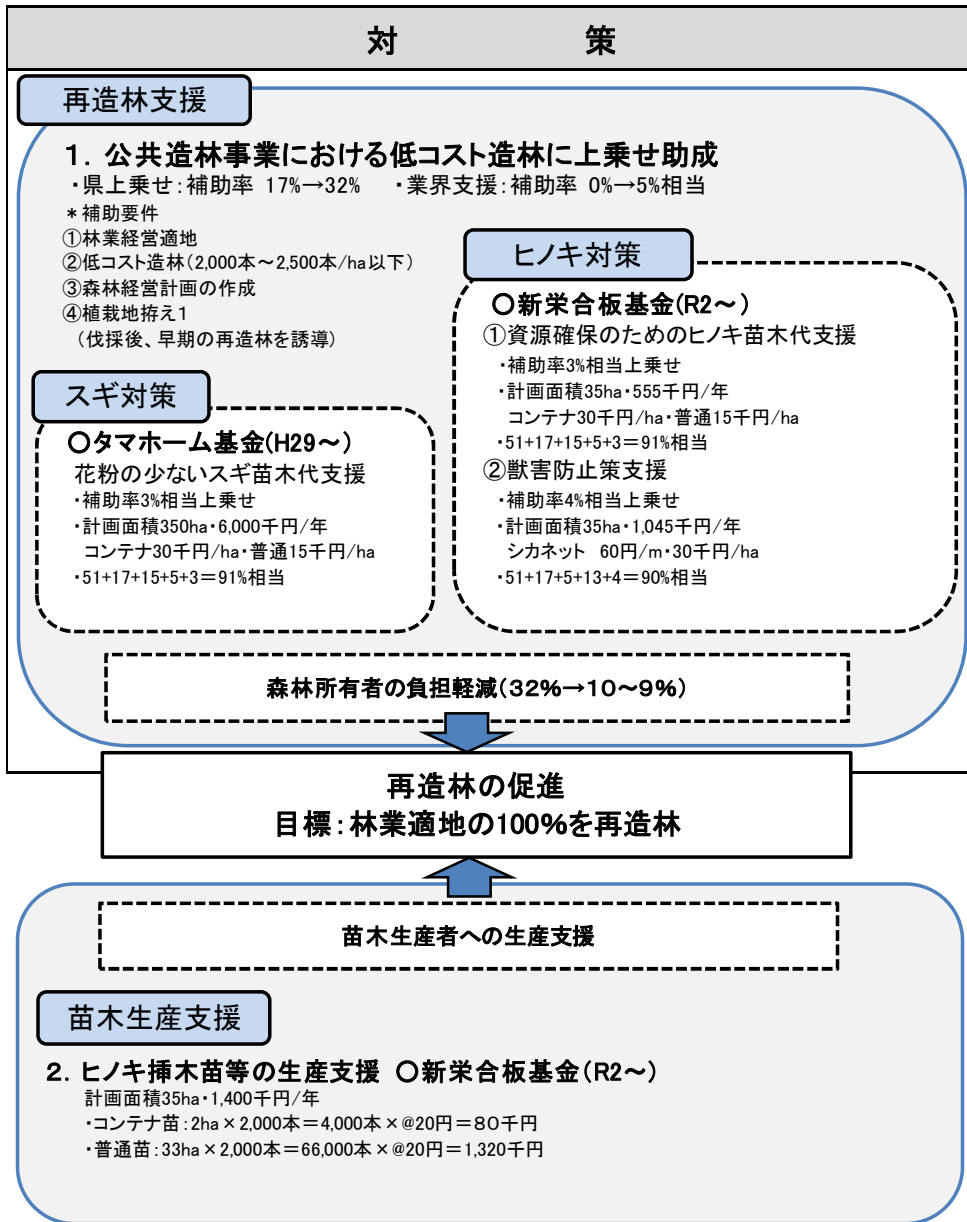
<再造林促進事業の計画と実績>

年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
計画	650 ha	700 ha	930 ha	1,000 ha	1,000 ha
実績	663 ha	914 ha	823 ha	674 ha	— ha

5 今後の課題と取組

各市町村及び各森林組合を通じて、低コスト再造林施業の普及啓発をさらに進め、再造林放棄地の解消を図る。

再造林促進事業の取組

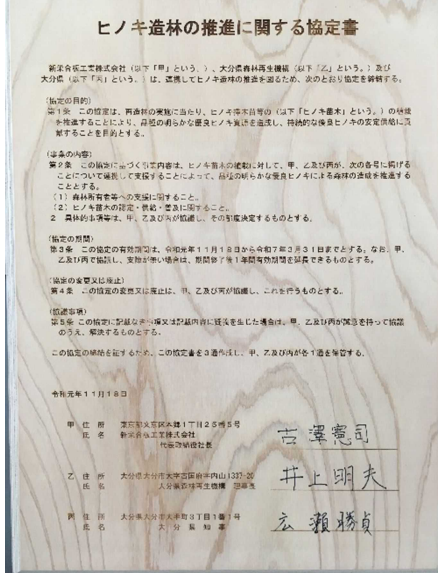
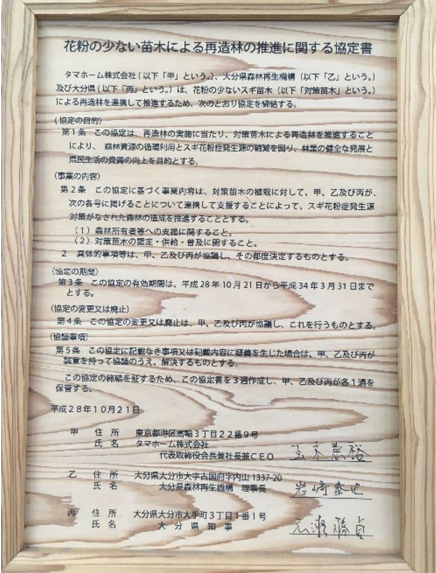


効果

① 持続的森林経営の維持及び循環(スギ・ヒノキ資源の確保)
 ② 公益的機能の早期回復(災害の防備・水源のかん養等)
 ③ 適正な森林の施業・管理が実現

**タマホームとの協定書
(花粉の少ないスギ再造林)**

**新栄合板との協定書
(ヒノキ再造林)**



③森林環境教育・木育促進事業 (森の先生派遣事業)

【森との共生推進室】

1 実施主体

大分県、委託先：「NPO法人グリーンインストラクターおおいた」

2 実施事業の概要

① 目的

次世代を担う子どもたちに森林や自然に対する理解を深めてもらうため、森林体験活動等を実施する。

② 事業内容

- ・ 保育所や幼稚園、小・中・放課後児童クラブ等で開催される行事等に県が認定した「森の先生」を講師として派遣し、森林体験活動等を実施する。
- ・ 教育関係者等を対象とした森林環境教育の研修に森の先生を講師として派遣する。

3 実績

- ・ 子どもを対象とした森林体験活動の参加実績

	H 2 9	H 3 0	R 1
派遣回数	1 0 2 回	9 5 回	8 5 回
派遣人数	4 8 5 人	5 2 4 人	4 9 2 人
森林体験者数	4, 6 7 9 人	4, 9 3 9 人	4, 5 6 5 人

- ・ 教育関係者を対象とした研修会派遣実績

	H 2 9	H 3 0	R 1
研修会回数	2 回	2 回	2 回
参加者数	3 5 人	3 3 人	2 7 人

4 実施状況写真

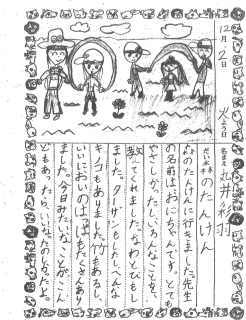
< 森林体験学習の様子 >



【自然観察会】



【葉っぱを使ったワークショップ】



【子どもの感想文】

< 教育関係者に対する研修会 >



【ネイチャーゲームの実習】



【自然観察の観点を身につける実習】